

18年12月、トラック第1当事者死亡事故13%増加

Edited By LogisticsToday On 2019/02/15

警察庁が15日発表した交通事故統計によると、事業用トラックが第1当事者となった死亡事故は2018年12月末時点で253件となり、前年同期に比べて33件（13%）増加したことがわかった。自動車全体では132件（4.7%）減。

事業用トラックの内訳は、大型が143件（11件、7.1%減）、中型・準中型・普通貨物が110件（7件、6%減）、軽貨物が13件（6件、31.6%減）だった。トレーラーは22件（7件、24.1%減）。

自家用貨物車（大型、中型、準中型、普通、軽）が第1当事者となった死亡事故は593件（24件、4%増）で、トレーラーは3件（2件増）だった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/336040>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.